

チーム名	チーム伊藤
テーマ	いつでも・どこでも単体操
学部・学科	短期大学部 保育科 看護学部 看護学科
授業科目名	地域貢献Ⅲ 地域貢献Ⅳ
授業の目的	<p>【地域貢献Ⅲ】 地域貢献Ⅱで身に付けた人間関係構築の基本スキルを活かし、チームで行動して地域課題の解決を図る。このことを通じて自己の適性を確認しながら多様性を持ち、他者と協力して物事を遂行することの大切さに気づき、必要なスキルを身に付けること。</p> <p>【地域貢献Ⅳ】 地域貢献ⅠⅡⅢで身に付けた人間関係構築、多様性、協調性のスキルを活かし、チームで行動して地域課題の解決を図る。実際にフィールドに出て多くの人と関わりながら活動することで、一層スキルを磨き、各人の専門的学びやキャリア構築に役立てることを目的とする。</p>
授業の具体的内容	<p>毎月3限×10回の授業を土曜日に集中して実施することで地域と連携したフィールドワークや実践の活動を講義に組み込んでいる。また、そのうちの5時間は先進的な取組をしている外部講師に講演していただくことで、地域における多様な地域問題点を理解し解決策を探求することを通じて、働く意識を醸成することも目的としている。</p> <p>具体的な活動としては【産学官連携プログラム】を実施した。本年度は瑞浪の高齢者の方と中津川市西まちづくり協議会と連携活動を実施して参りました。課題解決に向けた目標として、災害時の避難所において、高齢者のフレイル予防と子どもたちの運動不足の改善を設定しました。活動は、現状を石川県での避難所支援にボランティアとして参加した本学教員に聞き取りを行い、高齢者のフレイル予防や子どもたち運動不足を解消できるようなフレイル予防のための運動やアクティブチャイルドプログラムの運動を参考にしつつ全年代で楽しみながらできる運動プログラムの開発し、動画を作成する取組を実施してきました。</p> <p>また、それぞれ「地域貢献Ⅲ」の最終日には、前期期間の活動内容を整理し、中間報告会を実施し、「地域貢献Ⅳ」においては、チームで活動し、課題解決を図り報告書にまとめた上で、課題を共有した大学が所在して瑞浪市の方々を招き最終発表会を行い、意見をいただいている。</p>
連携している組織名	中津川市西まちづくり協議会
地域の課題	<p>本取組の中心となる東濃地域においても大規模災害による避難所の運営について能登半島地震や東日本大震災を契機に検討されてい来ているが、避難所の生活が長期化するにしたがって高齢者や子どもたちへの影響、フレイルや運動不足による運動能力の低下などが指摘されている。今後この地域において災害が起こった際にも同様の問題が発生することが予測されているがその対策は優先度の面から十分に検討されていない。</p>
課題解決に係る目標	災害時の避難所において、高齢者のフレイル予防と子どもたちの運動不足の改善を設定しました。

<p>取り組み内容</p>	<p>○活動方法</p> <p>予備活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防について専門家である本学教員から講義を受ける ・アクティブチャイルドプログラムについて、E-Learningや本学で担当している教員から講義を受ける <p>プログラム作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防とアクティブチャイルドプログラムを融合した運動プログラムを開発する ・開発したプログラムの動画とイラストでわかりやすく説明した用紙を作成する <p>実践評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市で実施した高齢者サロンに参加し、実践した後インタビュー調査を実施する ・中津川市西まちづくり協議会で実施した防災フェアに参加し、小学生親子を主な対象として実践を行いインタビュー調査を実施する。 <p>発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月に実施されたネットワーク大学コンソーシアム岐阜の発表会で発表 ・3月に実施された地域貢献プログラム最終発表会で発表 <p>○活動スケジュール</p> <p>4月 チームビルディング</p> <p>5月 地域課題の設定と解決案の決定</p> <p>6月 調査要件の枠組みの決定</p> <p>7月～8月 予備活動・プログラム作成の実施</p> <p>9月～12月 実践評価を行い動画の作り直し等を実施する</p> <p>12月～3月 2回の発表会</p>
---------------	---